

現場レポート ～ダムも私も異常なし？の巻～

もりよしざん

ていたいじゅんし

【森吉山ダムの堤体巡視に同行】

こんにちは～河川女子（チーム米代）の「こぐま」です。
平成 27 年 9 月 10 日、森吉山ダムの堤体巡視に同行させていただきましたので、その様子をレポートします。
それでは、頑張って行ってま～す。＼(*^o^*)♪

●ダムの外観を点検（右写真 2）

はじめに、ダムの堤体を歩きながら崩れているところや亀裂等、異常がないか目視で確認していきます。（異常はなし！）

こうずいば

●洪水吐きを点検（右写真 3）

ダムの水が「平常時の最高貯水位」を越えると、ここから水が自然と流れる仕組みになっているのだそうです。（異常はなし！）

開口部の大きさは 3 m × 3 m！大雨が続いた時などは下流に流れる水を少なくして洪水被害を防いでいるのですね。

かんさろう

●ダムの内部（監査廊）を点検（右写真 4）

ダム堤体の 1 番下、地下 60 m にはダムの変化を観測するため、コンクリートで作られた監査廊というトンネルがありました。

監査廊の壁には「クラック」と呼ばれるヒビが入っており、正直、大丈夫？？と思いましたが、今のところ大きな変動はなく全く問題ないそうです。（* ^o^*）

クラックの変動なども、ダムが異常を知らせる重要なサイン。

こうした些細な変化も常に点検・監視しているから、安心なんです！（ここも異常はなし！）



写真-1 森吉山ダム全景



写真-2 ダム堤体の外観



写真-3 洪水吐き



写真-4 監査廊



終わって見れば、ダムを隅から隅までずいぶん歩き回りました。
特に監査廊は急な階段やスロープが多く大変…。(^_^;)
自分の席に戻って一息ついた時、ん？なんか体中が痛い。
はっ！早くも筋肉痛です！（わ、私の体には異常が…！）

森吉山ダム管理支援業務シビル設計のみなさん、点検に同行させていただきありがとうございました！！